

平成27年度採択 大型車に特化した危険予測可能な後側方障害物センサの開発 株式会社パル技研（香川県） 主たる技術：情報処理

本研究開発では、大型車に関する悲惨な事故のない社会を目指し、カメラとマイクロ波レーダを用いて大型車の右左折時に車両側方や後方の人を検知し、事前に危険を予測できる運転者支援システムの開発に取り組んだ。

研究開発の成果

■ マイクロ波センサ部開発

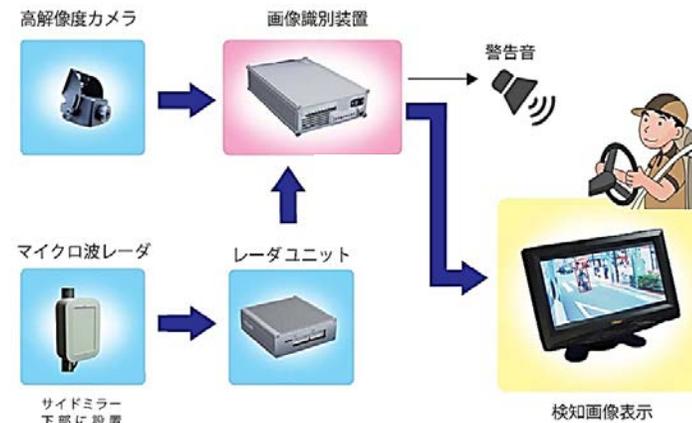
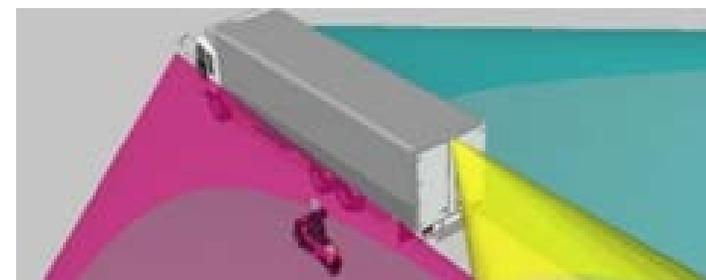
- ・車載用マイクロ波レーダ試作機の開発
- ・反射物の移動速度を認識し接近物体のみ検出する技術を確立

■ 画像処理部開発

- ・車載用画像識別装置試作機の開発
- ・交通弱者（歩行者、バイク、自転車） 識別技術を確立

■ システム化

- ・検知率99%以上を実現
- ・第10回 国際カーエレクトロニクス技術展に出展



研究体制

一般財団法人 四国産業・技術振興センター

法認定中小企業：パル技研
広島大学、産業技術総合研究所、香川県産業技術センター、タダノ

当該研究開発の連絡窓口

所属・氏名：企画営業部部长 山田 浩
E-mail：hiroshi.yamada@palgiken.co.jp
電話番号：087-864-3388